

春彦三ノ後半、代表者八名、交換、役名ヲ有シ策
上多大、不便アルヲ以テ各科毎二名乃至二名
、代表者ヲ選定ナレタリト決ハ更ニ別項幹部協定
審議ノ報告ニ午後一時懇會也)

(八) 観音館女子部

二日前十時約二十名集合スルヤ館主マウント
ル女史、一同ニ歎シ開年祭舉其他女子ニアル
印子行爲アリ、於テハ當祈ニ集會ヲ斯然拒絶スベ
不卜冒頭、不自分ハ常ニ勞働者放浦ト慈化奉業、操
公居ノ今國織手勿勿祈ニ毎日集會スルニ就テ久無
為ニ貴重ノ時間空費スルハ憤ニ申訟十次
矣、十二月際織物刺繡等、教導不至出未高、幾分十
九ノ新舊廿ノ度ニ一速力更ニ男子部應援者ニ歎シ

奇跡ニ女子部ニ集會、是ノ間ニ就キハ勿局翁、歌
舞、縫合、裁縫、運送等々被ノ教、意味、於テ深ニ
希望又ハ新甲斐足、計ニ總回過本部ノ一束後、
總永正教外數萬ノ一女史、主意、尊重之、旨ニ就
之午後密持三十公無事教會、本日ハ男子部同様千前
九時三十分來着、廿五十名ニシテ勧誘ニ採印、
上多織ハ同十一時教會ノハサ少織者居候、編物、
練習中

二、月給社員及心組長側、懇談

本月一日月給社員及心組長、各科主任、工場
内二組長等、麻布已綱代町二十一街地空手二丈、參
集新築場所、上月給社員江口六名主任側ヨリ三名組